



主催：神戸大学 都市安全研究センター

共催：神戸大学減災デザインセンター、未来世紀都市学研究アライアンス
神戸市危機管理室、神戸市消防局

第 308 回 神戸大学都市安全研究センター RCUSS オープンゼミナール

日 時：2025 年 11 月 15 日（土）午前 10:30～12:00

開催型式：ハイブリッド型式（対面+オンライン）

開催場所：神戸市役所 4 号館（危機管理センター）1 階会議室

神戸市中央区江戸町 97-1 Tel. 078-322-5740



下記ページから、参加申し込み（ライブ動画視聴含む）を事前に行ってください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_iq5Plw5gQP6eFLTw3KsGow

司会：廣瀬 仁 神戸大学都市安全研究センター准教授

主催：神戸大学都市安全研究センター

共催：神戸大学減災デザインセンター、未来世紀都市学研究アライアンス、
神戸市危機管理室、神戸市消防局

講演題目：南海トラフ巨大地震：歴史・科学・そして備え

講師：吉岡 祥一 神戸大学都市安全研究センター 教授

【概要】

本講演では、南海トラフ巨大地震を「歴史・科学・備え」の三つの視点から概観します。白鳳・宝永・昭和の大地震を取り上げ、津波や火災旋風、デマ拡散といった被害を紹介し、BPT 分布や時間予測モデル、室津港データを踏まえた 2025 年の最新の長期評価を解説します。さらに、強震動・津波・液状化・火災・帰宅困難・物流途絶・インフラ被害、さらには富士山噴火との複合災害リスクを示し、神戸におけるいくつかの被害想定を具体的に提示します。加えて Hi-net、DONET、S-net、N-net などの観測網や緊急地震速報の効果を取り上げ、最後に市民・企業・行政が今日から実践すべき行動を提案します。

<質疑の方法について>

オープンゼミナールでは、講演による話題提供のあと、十分な時間をとって質疑を行い、研究や実践のありかたを市民の皆様とともに考える場としたいと考えています。会場での質疑を中心としますが、オンラインからの質問も時間に余裕があればお受けします。オンラインでの質問の方法は、zoom ウェビナー画面下にある Q&A に、①お名前、②お住いの地域・ご所属、③ご質問の内容、を書き込んでください。お寄せいただいた内容につきまして、ご所属・お名前、内容を読み上げて、お答えします。また、音声によるご発言をお願いする場合がありますので、その際はよろしく願いいたします。

【配布資料】：

2024 年 4 月より、RCUSS オープンゼミナール友の会（会員限定ページ）、

<https://rcuss.smoosy.atlas.jp/mypage> → 「オープンゼミナール資料-2024 年」に変更。

順次、配布資料等をアップしますので、ご参照ください。

開催記録】後日、下記にアップします。

<http://www.rcuss.kobe-u.ac.jp/openseminar/openseminarhistory.html>

【今後のオープンゼミナールの予定】

第 309 回神戸大学 RCUSS オープンゼミナール

日時： 2025 年 12 月 20 日（土）10 時半～12 時

大題目：令和 6 年能登半島地震から 2 年一被災地の復興と課題ー

①照本 清峰 関西学院大学，建築学部，教授

小題目：能登町における避難生活期から本格的復興期への端境期の生活環境課題（仮）

②荒木 裕子 京都府立大学，生命環境科学研究科，准教授

小題目：七尾市田鶴浜における 住宅再建と課題（仮）

第 310 回神戸大学 RCUSS オープンゼミナール

日時： 2026 年 3 月 21 日（土）10 時半～12 時

【ご案内】

RCUSS オープンゼミナールは、広く社会に神戸大学都市安全研究センターの活動を公開するとともに、関連する各分野の皆様からの報告を通じて、安全な社会としていくための研究や実践のあり方を議論しています。このオープンゼミナールには、大学の教職員・学生のほか、安全・安心に関心を持つ市民の方々や、コンサルタントなどの民間企業の方々、自治体の消防・建築・地域関係の職員の皆様などが参加されています。参加費は無料です。ご興味のある方は遠慮なくご参加ください。

【問合わせ先】

神戸大学都市安全研究センター(RCUSS)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

TEL： 078-803-6437（センター事務室）、FAX： 078-803-6394、

MAIL：rcuss-opensemi@research.kobe-u.ac.jp